

青森県報

号外第五十号

平成十九年
五月十六日
(水曜日)

目次

人事委員会

平成十九年度青森県職員採用上級試験公告
平成十九年度青森県職員採用上級試験公告(農芸化学)……………(農芸化学)……………
平成十九年度青森県職員採用上級試験公告(建築)……………(建築)……………

人事委員会

平成19年度青森県職員採用上級試験公告

平成19年度青森県職員採用上級試験を次のとおり実施するので、人事委員会規則6-15(職員の任用に関する規則)第10条の規定により公告する。

平成19年5月16日

青森県人事委員会委員長 佐々木 忠一

- 1 試験の種類及び程度
 - (1) 種類 職員採用上級試験
 - (2) 程度 大学卒業程度
- 2 試験職種、採用予定人員及び職務の内容
 - (1) 試験職種及び採用予定人員

試験職種	採用予定人員	試験職種	採用予定人員
行政	8人程度	総合土木	2人程度

化学	3人程度	農芸化学	1人程度
薬学	3人程度	建築	1人程度
農学	1人程度		

(2) 職務の内容

「行政」については、知事部局及び警察本部等の本庁又は出先機関において一般行政事務に従事する。

「薬学」については、知事部局及び病院局の本庁又は出先機関において専門的技術的業務に従事する。

「農芸化学」については、警察本部(刑事部科学捜査研究所)において専門的技術的業務に従事する。

その他の職種については、知事部局の本庁又は出先機関において専門的技術的業務に従事する。

3 受験資格

(1) 次のいずれかに該当する者で、活字印刷文による出題に対応できる者

ア 昭和53年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた者

イ 昭和61年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法(昭和22年法律第26号)による大学(短期大学を除く。以下「大学」という。)を卒業した者又は平成20年3月31日までに大学を卒業する見込みの者(人事委員会が同等の資格があると認める者を含む。)

さらにこの者のうち、「薬学」の試験職種を受験しようとする者については、薬剤師の免許を有する者又は平成20年7月31日までに取得する見込みの者に限る。

(2) 次のいずれかに該当する者は受験できない。

日本の国籍を有しない者

地方公務員法第16条に規定する欠格条項のうち以下に該当する者

・ 成年被後見人又は被保佐人(準禁治産者を含む。)

・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

・ 青森県の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

- 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加わった者

4 試験の日時、場所及び合格発表

試験	試験日 (開始時刻)	場 所		合 格 日	合 格 表 示 方 法
		試験地	試験会場		
第1次試験 (午前9時)	6月24日(日) (午前9時)	青森市	青森県立青森商業 高等学校 青森東高 等学校	7月6日(金) (予定)	合格者になる者 の合格番号及び 青森県内各地方 の青森県民に 掲示する。また、 ホームページに 合格者番号を 掲示する。 (http:// www.pref.aom ori.lg.jp/in/ji- /saiyou.html)
		東京都	拓殖大学文京キヤ ンパスS館		
第2次試験	7月下旬	青森市	青森県庁舎内	8月上旬	

5 試験の種目及び内容

試験	種 目	内 容
第1次試験	教養試験	公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度の五択択一式による筆記試験を行う。(50題、2時間30分)
	専門試験	試験職種ごとに、それぞれの専門的知識及び能力について、大学卒業程度の五択択一式による筆記試験を行う。なお、問題は下記「12 専門試験出題分野」の中から出題する。(40題、2時間)
	論文試験	一般的課題により職務の遂行に必要な識見、判断力、思考力等について記述試験を行う。(800字以内、1時間) (内容、論理性・思考力、構成・表現、国語力を評価)

第2次試験	面接試験	主として人物について、集団面接及び個別面接により試験を行う。積極性、堅実性、表現力、態度等を評価)
	適性検査	公務員としての適性について、性格検査法による検査を行う。
身体検査		身体検査書に基づき、職務の遂行に必要な健康度について検査を行う。

6 試験の配点の基準

第1次試験				第2次試験					合 計	
教 養 試 験	専 門 試 験	計	論 試	文 験	面 試	接 験	適 性 査	身 査		体 査
40	60	100	40	150	適否	適否	適否	適否	190	290

- 表中「適否」とあるのは合否基準を設定し、その基準を満たす必要があるものである。
- 身体検査の合否基準では、医療機関等において検査した身体検査書により「就業に支障がない」ことが必要である。
- 最終合格者の決定方法
最終合格者は、試験種目別で設定している合否基準を満たしている者について、第1次試験及び第2次試験の総合得点による順位で決定する。
- 受験の手続及び受付期間
(1) 受験の手続

受験申込用紙 の入手方法	直接請求する場合	青森県人事委員会事務局、県庁正面受付、県庁北棟受付、県庁各地域民局(総務課)、青森県民局(総務課)、青森県民局(総務課)、青森県民局(総務課)、青森県民局(総務課)及び県内各警察署で配布する。
	郵送で請求する場合	封筒の表に「上級試験案内請求」と朱書きし、120円切手を貼ったあて先(明記の返信用封筒(角形2号))を同封のうえ、青森県人事委員会事務局に請求すること。
ダウンロードする場合		ホームページから受験申込書をダウンロードすること。

受験申込方法	直接持参する場合	受験申込書に必要な事項を記入し、必ず顔写真を貼り、受験票には住所・氏名を明記のうえ50円切手を貼って青森県人事委員会事務局に出すこと。
	郵送する場合	封筒の表に「上級試験申込」と朱書きし、簡易書留又は配達記録で青森県人事委員会事務局に送付すること。真を貼り、受験票には住所・氏名を明記のうえ50円切手を貼ること。必ず受験申込書及び受験票は、折らずに郵送すること。
受験票の交付	受験票は、受験申込書の持参・郵送を問わず6月8日(金)に発送する。なお、受験票が6月15日(金)までに返送されない場合は、速やかに青森県人事委員会事務局に連絡すること。	

(2) 受付期間

5月16日(水)から6月4日(月)まで
(ただし、土曜日及び日曜日は受け付けない。)

受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までとする。

郵送の場合は、6月4日(月)までの消印のあるものに限りに受け付ける。

申込受付期間終了後の試験職種や試験地などの変更は認めない。

9 採用候補者名簿の作成及び採用の方法

(1) 採用候補者名簿の作成

この試験の最終合格者は、青森県人事委員会が作成する採用候補者名簿に記載される。

(2) 採用の方法

採用者は、青森県知事等各任命権者からの請求に応じて成績順に提示される名簿の中から決定される。

採用の時期は平成20年4月1日以降となるが、本人が辞退しない限りほぼ全員が採用となっている。

なお、「薬学」の合格者で薬剤師の免許を取得見込みの者は、平成20年7月31日までに薬剤師の免許を取得できなければ採用されない。

採用候補者名簿の有効期間は、原則として1年間である。

10 試験結果の開示

この採用試験の結果は、青森県個人情報保護条例(平成10年12月青森県条例第57

号)第20条第1項の規定により、口頭で開示を請求することができる。

開示を希望する場合、受験者本人が受験票もしくは本人であることを証明する書類を持参のうえ、青森県人事委員会事務局へ直接請求すること。

受付時間は午前8時30分から午後5時15分までとする。

(ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日は受け付けない。)

開示請求可能な者	開示内容	開示期間	開示場所
第1次試験不合格者	第1次試験の試験種目別得点、総合得点及び順位	第1次試験合格発表の日から1月間	青森県人事委員会事務局
第2次試験受験者	第1次試験の試験種目別得点、総合得点及び順位、第2次試験の試験種目別得点並びに最終総合順位	最終合格発表の日から1月間	

11 初任給その他の給与

初任給は、170,200円程度(平成19年4月採用の大学新卒者の場合)であり、6月、12月に期末・勤勉手当が支給されるほか、支給条件に応じて扶養手当、通勤手当、住居手当等が支給される。(平成19年度は給料月額額の2%が減額されている。)

12 専門試験出題分野

試験職種	出題分野
行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会学政策、国際関係、経営学等
化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・有機化学、有機化学、有機工業化学、化学工学等
薬学	物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、生化学、薬理学、衛生化学、生薬学、薬理学等
農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、農業水利、土地改良、農業造構等

農芸化学	物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、生物化学、土壤学・植物栄養学・肥料学、食品化学・食品貯蔵加工学、応用微生物学等
建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等

平成19年度青森県警察官採用試験（警察官A）公告

平成19年度青森県警察官採用試験（警察官A）を次のとおり実施するので、人事委員会規則6 - 15（職員の任用に関する規則）第10条の規定により公告する。

なお、当該試験の実施に当たって、青森県警察官採用試験（警察官A（男性））第1次試験については、埼玉県、千葉県、神奈川県、静岡県及び警視庁と共同で行うものとする。

平成19年5月16日

青森県人事委員会委員長 佐々木 忠 一

1 試験の種類及び程度

種類	区分	採用予定日	程度
	男性	平成19年10月1日	大学卒業程度
	女性		
	男性	男性 / 武道指導 (柔道)	
	女性		
男性 / 武道指導 (剣道)		平成20年4月1日	
語学 / 英語			

語学 / 韓国・朝鮮語	心理		

2 採用予定人員及び職務の内容

(1) 採用予定人員

種類	区分	青森県						埼玉県	千葉県	神奈川県	静岡県	警視庁
		男性	女性	男性	女性	男性 / 武道指導 (柔道)	男性 / 武道指導 (剣道)	語学 / 英語	心理学			
警察官A 試験	男性	25人程度	2人程度	24人程度	2人程度	1人程度	1人程度	3人程度	3人程度	3人程度	3人程度	
	女性	2人程度	2人程度	2人程度	2人程度	1人程度	1人程度	3人程度	3人程度	3人程度	3人程度	
	男性 / 武道指導 (柔道)	1人程度	1人程度	1人程度	1人程度	1人程度	1人程度	3人程度	3人程度	3人程度	3人程度	
	男性 / 武道指導 (剣道)	1人程度	1人程度	1人程度	1人程度	1人程度	1人程度	3人程度	3人程度	3人程度	3人程度	
	語学 / 韓国・朝鮮語	1人程度	1人程度	1人程度	1人程度	1人程度	1人程度	3人程度	3人程度	3人程度	3人程度	
	心理学	2人程度	2人程度	2人程度	2人程度	2人程度	2人程度	3人程度	3人程度	3人程度	3人程度	

(警察官A（男性）受験者は、上記都県の中から第2志望まで選択することができる。ただし、青森県を第2志望とすることはできない。)

(2) 職務の内容

個人の生命、身体及び財産の保護、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、

交通の取締、その他公共の安全と秩序の維持に当たる。

3 受験資格

(1) 受験資格は区分により異なる。

試験区分	実施機関	受験資格	
		年 齢	学 歴 等
警察官A (男性)	青 森 県 玉葉川町 静	昭和52年4月2日以降に生まれた者	学校教育法(昭和22年法律第26号)による大学(短期大学を除く。以下「大学」という。)を卒業した者又は平成19年9月の30日までに大学を卒業する資格があるもの。1日以下の採用に応じられる者
		昭和53年4月2日以降に生まれた者	大学を卒業した者又は平成20年3月31日まで大学を卒業する見込みの者
警察官A (女性)	青 森 県	昭和52年4月2日以降に生まれた者	大学を卒業した者又は平成20年3月31日まで大学を卒業する見込みの者
		昭和53年4月2日以降に生まれた者	大学を卒業した者又は平成20年3月31日まで大学を卒業する見込みの者

校大会に出場した経歴を有すること
警察官A(語学/英語、韓国・朝鮮語)を受験する場合
朝鮮語に堪能であること

警察官A (心理)	青 森 県 昭和53年4月2日以降に生まれた者	大学において心理学を専修する学科若しくはこれに相当する課程を修めて卒業した者又は平成20年3月31日までに卒業する見込みの者
--------------	----------------------------	--

(2) 次のいずれかに該当する者は受験できない。

- 日本の国籍を有しない者
- 地方公務員法第16条に規定する欠格条項のうち以下に該当する者
 - 成年被後見人又は被保佐人(準禁治産者を含む。)
 - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - 志望する都県の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加わった者

4 試験の日時、場所及び合格発表

試験区分	試験日 (開始時刻)	場 所		合 格 発 表 日	発 表 方 法
		試験地	試験会場		
青 森 県	第1次 試験 (7月8日(日) 午前9時)	青 森 市	青森県立青森商業高等学校 青森県立保健大学	7月18日(水) (予定)	合格者に書面 で通知するほか、 合格者の森県庁、 青森県内各警察 及び署の掲示板 に掲示する。ホ ームページの上 に掲示する。 (http://www.pr ef.aomori.lg.jp/ji nfi-i/saiyou.html)
			青森県警察本部 青森青森学校		
青 森 県	第2次 試験 8 月 中 旬	青 森 市	青森県立青森商業高等学校	9 月 上 旬	
青 森 県	第1次 試験 (7月8日(日) 午前9時)	青 森 市	青森県立青森商業高等学校	8 月 上 旬	

以外	第2次試験	8月中旬	青森市 青森県立青森商業高等学校	10月中旬 ~ 11月下旬
----	-------	------	---------------------	---------------------

青森県以外の都県の合格発表日については、志望する都県によって異なるので、それぞれの都県に問い合わせること。

5 試験の種目及び内容

試験種目	内容
第1次試験	<p>警察官として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度の五枝択一式による筆記試験を行う。(50題、2時間30分) 解答は、マークシート方式により行う。</p> <p>試験区分ごとに必要な専門的知識及び能力等について、五枝択一式による筆記試験(警察官A(語学/英語、韓国・朝鮮語)及び警察官A(心理)のみ)を行う。(40題、2時間)</p>
実技試験	<p>武道(柔道、剣道)についての実技試験(警察官A(男性/武道指導(柔道、剣道))のみ)を行う。</p>
論文試験	<p>一般的課題により職務の遂行に必要な識見、判断力、思考力等について記述試験を行う。(800字以内、1時間) (内容、論理性・思考力、構成・表現、国語力を評価)</p>
面接試験	<p>警察官に適する人物かどうかについて、集団面接及び個別面接により試験を行う。積極性、堅実性等を評価した、警察官A(語学/英語、韓国・朝鮮語)の受験者については、個別面接の際に、募集言語による会話能力試験を行う。</p>
適性検査	<p>警察官としての適性について、性格検査法による検査を行う。</p>
2 体力検査	<p>警察官としての職務遂行に必要な持久力(20mシャトルラン)、瞬発力(立幅跳び)及び筋力(上体起こし)について検査を行う。</p>
次	<p>男性 (青森県の場合)</p> <p>女性</p>

試験	身体検査 [右より、検査を行う。]	身長	体重	胸囲	視力	色覚	その他
		160cm以上であること。	47kg以上であること。	78cm以上であること。	両眼とも視力が0.6以上であること又は矯正視力が1.0以上であること。	正常であること。	職務の遂行に支障のない身体的状態であること。
受験資格等の調査		受験申込書の記載事項の真偽等について調査する。					

警察官A(男性)試験の身体検査では、志望する都県によっては多少基準が異なることがあるので、青森県警察本部警務課に問い合わせること。

6 試験の配点の基準

試験種目	区分				
	男性	女性	男性/武道指導(柔道、剣道)	語学(英語、韓国・朝鮮語)	心理
第1次試験	80	80	80	40	40
	-	-	-	40	40
実技試験	-	-	適否	-	-
計	80	80	80	80	80
論文試験	40	40	40	40	40

第2次試験	面接試験	150 (適否)	150 (適否)	150 (適否)	150 (適否)
	適性検査	適否	適否	適否	適否
	身体検査	適否	適否	適否	適否
	体力検査	30 (適否)	30 (適否)	30 (適否)	30 (適否)
	計	220	220	220	220
	合計	300	300	300	300

注1. 表中「適否」とあるのは合否基準を設定し、その基準を満たす必要があるものである。

2. 身体検査の合否基準では、医療機関等において検査した身体検査書により「就業に支障がない」ことが必要である。また、さらに詳細な基準値(身長・体重・胸囲・視力・色覚)を満たす必要がある。(体重・胸囲は男性のみ)
- 7 最終合格者の決定方法
最終合格者は、試験種目別で設定している合否基準を満たしている者について、第1次試験及び第2次試験の総合得点による順位で決定する。
- 8 受験の手續及び受付期間

- (1) 受験の手續

受験申込用紙の入手方法	直接請求する場合	青森県人事委員会事務局 青森県警察本部警務課、県内各警察署、県民局地域連携部、北地域受付県民局地域課(鶴ヶ沢庁舎)、青森県東京事務所及び本県の各県外情報センターで配布する。
	郵送で請求する場合	封筒の表に「警察官A試験案内請求」と朱書きし、120円切手を貼ったあて先明記の返信用封筒(角形2号)を同封のうえ、青森県人事委員会事務局又は青森県警察本部警務課のいずれかに請求すること。
	ダウンロードする場合	ホームページから受験申込書をダウンロードすること。

受験申込方法	直接持参する場合	受験申込書に必要な事項を記入し、必ず顔写真を貼り、受験票には住所・氏名を明記のうえ50円切手を貼って青森県警察本部警務課に提出すること。
	郵送する場合	封筒の表に「警察官A試験申込」と朱書きし、簡易書留又は配達記録で青森県警察本部警務課に送付すること。受験申込書に必要な事項を記入し、必ず顔写真を貼り、受験票には住所・氏名を明記のうえ50円切手を貼ること。受験申込書及び受験票は、折らずに郵送すること。
受験票の交付	受験票は、受験申込書の持参・郵送を問わず6月29日(金)に発送する。なお、受験票が7月3日(火)までに返送されない場合は、速やかに青森県警察本部警務課まで連絡すること。	

- (2) 受付期間

5月28日(月)から6月22日(金)まで
(ただし、土曜日及び日曜日は受け付けない。)
受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までとする。
郵送の場合は、6月22日(金)までの消印のあるもの限り受け付ける。
申込受付期間終了後の試験区分や志望順位などの変更は認めない。

- 9 採用候補者名簿の作成及び採用の方法

- (1) 採用候補者名簿の作成
この試験の最終合格者は、合格した都県の作成する採用候補者名簿に登載される。

- (2) 採用の方法及び時期

採用者は、各警察本部長又は警視總監からの請求に応じて成績順に提示される名簿の中から決定される。

採用の時期は警察官A(男性)及び警察官A(女性)は平成19年10月1日、警察官A(男性)、警察官A(女性)、警察官A(男性/武道指導(柔道))、警察官A(男性/武道指導(剣道))、警察官A(語学/英語)、警察官A(語学/韓国・朝鮮語)及び警察官A(心理)は平成20年4月1日以降となるが、本人が辞退しない限りほぼ全員が採用となっている。

採用候補者名簿の有効期間は、原則として1年間である。

- (3) その他

採用後は巡査となり、初任教養を受けるため6か月間警察学校（全寮制）に入校する。
警察学校を卒業後は交替に配置され、その後、本人の適性等により、留置係、生活安全係、刑事係、交通係、警備係、機動隊などの業務に従事する。

10 試験結果の開示

青森県の採用試験の結果は、青森県個人情報保護条例（平成10年12月青森県条例第57号）第20条第1項の規定により、口頭で開示を請求することができる。

開示を希望する場合、受験者本人が受験票もしくは本人であることを証明する書類を持参のうえ、青森県人事委員会事務局へ直接請求すること。

受付時間は午前 8 時30分から午後 5 時15分までとする。

（ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日は受け付けない。）

開示請求可能な者	開 示 内 容	開示期間	開 示 場 所
青森県の第1次試験不合格者（青森県のみを志望した者）	第1次試験の試験種目別得点、順位	第1次試験合格発表の日から1月間	青森県人事委員会事務局
青森県の第1次試験不合格者（他都県を第2志望とした者）	第1次試験の試験種目別得点、順位、最終得点並びに最終順位	1月4日から1月間	
青森県の第2次試験受験者	第1次試験の試験種目別得点、順位、最終得点並びに最終順位	最終合格発表の日から1月間	

11 昇任、初任給その他の給与

(1) 昇任

本人の努力次第で上級の警察官に昇任できる。

(2) 初任給その他の給与

ア 青森県の場合（平成19年4月現在）

初 任 給	手 当	開 係	被 服

165,300円	6月及び12月に期末・勤勉手当が支給されるほか、支給条件に応じた扶養手当、通勤手当、住居手当等が支給される。	採用と同時に制服、制帽のほか、靴、ウイスキー防蹠衣等が支給される。
----------	--	-----------------------------------

平成19年度は給料月額額の2%が減額されている。

イ 青森県以外の都県の給与等については、それぞれの都県に問い合わせること。